

国民と平和と 思い

から、新時代の天皇像を探る。必要性を感じておられるの「だろ」と話した。

陛下は一九六〇年生ま

る。上皇后美智子さまと慰霊の旅を続けた原点ともいわれ

皇室のあり方追い求め



「即位後朝見の儀」でお言葉を述べられる天皇陛下

11日午前11時14分、皇居・宮殿「松の間」で(代表撮影)

首相発言全文

安倍晋三首相の即位後朝見の儀での発言全文は次の通り。

謹んで申し上げます。

天皇陛下におかれましては、本日、皇位を継承されました。国民を挙げて心からお喜び申し上げます。

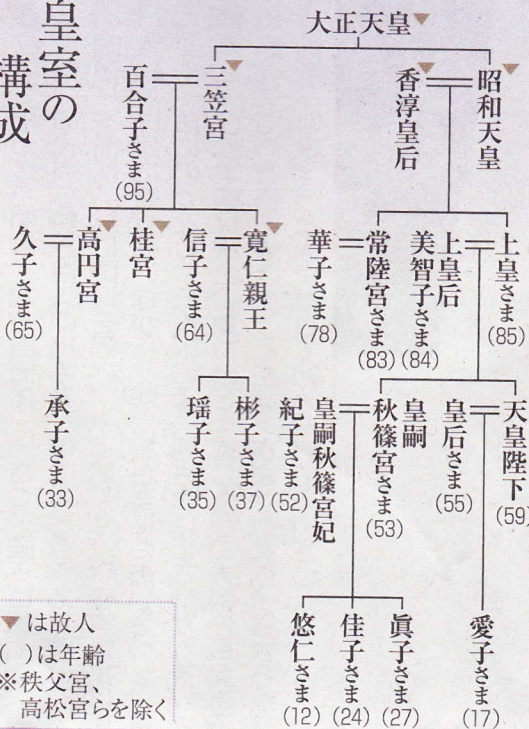
ここに、英邁(えいまい)なる天皇陛下から、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、日本国憲法にのっとり、日本国および日本国民統合の象徴としての責務を果たされるところに、国民の幸せと国の一

層の発展、世界の平和を切に希望することをおこぼを賜りました。

私たちは、天皇陛下を国および国民統合の象徴と仰ぎ、激動する国際情勢の中で、平和で、希望に満ちあふれ、誇りある日本の輝かしい未来、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ時代を、創り上げていく決意であります。

ここに、令和の御代(みよ)の平安と、皇室の弥栄(いやさか)をお祈り申し上げます。

皇室の構成



▼は故人
()は年齢
※秩父宮、高松宮らを除く

誕生日会見で、陛下は歴史を誓い、「と、現憲法のもとで初めて即位する決意を強調。「戦争を体験した世代から戦争を知らない世代に、悲惨な体験や日本がたどった歴史が正しく伝えられていくことが大切である」と述べた。

陛下は皇太子時代の一四